



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2019-2020

2019-20年度 RI会長; マーク・ダニエル・マローニ / 地区ガバナー 浅木 幸雄
加古川ロータリークラブ会長; 枝川 潤一 / 幹事; 大辻 利紀
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和元年9月17日(火) 晴 No. 11



▲会長挨拶



▲会長と小林稔夫さん



▲小林稔夫さんの卓話

会長の時間

会長 枝川 潤一

<ドン・ペリニオン DOM PERIGNON の話>

I >ドン・ペリニオン(以下ドンペリ)の雑学的基礎

ドンペリはブドウの出来が良い年のみつくられるヴィンテージ(以下VT)シャンパンで、その歴史は比較的新しく、1921年VTを1936年に発売したのが始まりです。

ドンペリが今日高級シャンパンの代表として圧倒的な知名度を誇る理由は3つあると思われまます。1つ目は生産量が非常に多いことで、非公表ながら年産500万本と言われ、これはボルドー5大シャトーの第1級格とセカンド・ワインを合わせた生産本数合計の約3倍に相当する驚異的な量です。2つ目は一貫して高品質でバランス良く、万人向けのスタイルを堅持し、かつ買ってすぐに飲んでも美味しいこと、3つ目はプロモーションが上手く、高級ブランドイメージが定着していることです。

シャンパンは非常に‘技巧的な’ワインであり、このように卓越した高級シャンパンを一貫して大量につくり続ける技術力は本当に凄いと思います。

II >ドンペリの熟成

直前・最高醸造責任者(シェフ・ド・カーヴ) ジョフロワ氏によると、ドンペリは3回にわたって調和が最高潮に達するプレニチュードを迎えるのだそうです。最初のピークはリリースされた当初(8~10歳)で、まだ蕾のよう、最初のエノテークとして出される頃(18~20歳)になると新成人として個性を開花しはじめ、第2のエノテークに入る25~35~40歳の頃になると、しわが刻まれて3回目の熟成のピークを迎え、真の個性を確立するのだそうです。

本当に奥が深いなと思いますが、これは蔵元でオリと一緒に熟成させ続けた場合の話であって、オリ抜き後のボトルを個人的に長く保管しても事情が違ってこうはならないようです。

III >ドンペリの種類(銘柄)

普通の白とロゼの他に、以前は俗称でブラック、ゴールド、プラチナと呼ばれる銘柄があり、近年はP2、P3が発売され切り替わっています。

1)ドンペリ(白)(俗称ホワイト)

瓶熟成7~8年の最も一般的なドンペリを指す。価格は1本1万6千~1万8千円。品質やイメージを考えるとかなりお買い得で、俗受けし過ぎているからと敬遠してしまうの

は勿体ない。

なお、普通のエチケット(ラベル)の他にアーティストシリーズとルミナスがあり、中身は白と同じでも価格は2万円程。ルミナスは開けるとボトル底のライトが点灯して暗闇でラベルが幻想的に光り鮮やかな演出が楽しめます。

2) ドンペリ・ロゼ(俗称ピンク、ピンドン)

瓶熟成8~10年、価格は3万円台、白の約2倍。バブル期の象徴という印象はぬぐえませんが、専門家が最も偉大なロゼ・シャンパンの一つに推すほど品質は確かです。

3) ドンペリP2

瓶熟成16年、価格は4万2千~5万円超、白の約3倍。P2とは第2の熟成のピークに達したという意味で、オリ抜きを遅らせた希少な至極の逸品であり、次項エノテークの後継品とみられます。最新のVTは2002年。けっして重くなくフィネスがあって、クリーミーな滑らかさは驚異的と評されています。

4) ドンペリ・エノテーク(俗称ブラック、1976年以前はプラチナ)

ブラックは瓶熟成13~16年、プラチナは特に優れたワインを30年以上寝かせたものという。エノテークとしては多分1996年VTが最後で今は過去形の銘柄でしょう。ちなみにエノテークとはモエ・エ・シャンドン社の古酒専用の地下貯蔵庫のことだそうです。

5) ドンペリ・レゼルヴ・ド・ラベイ(俗称ゴールド)

20年以上熟成させた特別バージョンの稀観品で、ネーミングは「修道院の原酒」という意味だそうです。

6) ドンペリP3(俗称第2のプラチナ)

瓶熟成25年以上の超限定品で、VTによって価格は大きく変わり、もしあれば滅茶苦茶高価で40万円以上しそうです。なお、エノテーク、P2、P3にもロゼはありますが、マニアックなのか殆ど見かけません。

7) その他特別なもの:略

シャンパンは夢や勇気を与えてくれる飲み物であり、フランスでは‘戦に勝った時には飲む価値があり、戦に負けた時には飲む必要がある’と語られていたそうです。殊にドンペリとなるといちいち説明する必要もなく、みんなに大喜びされることは間違いなく、一生に一度でもよいので、お祝いやハレの日に家族や親しい仲間と一緒に乾杯してみても如何でしょうか？

最後に、今月は「基本的教育と識字率向上月間」で、本日は青少年奉仕委員会担当のフォーラムとなっています。卓話をお願いしていますゲストの小林稔夫様並びに安井委員長、宜しくお願い致します。

幹事報告

1) ☆他クラブニュース

例会変更のお知らせ

高砂 RC

◇10月11日(金)→休会[定款第8条第1節(C)]

◇10月25日(金)→家族移動例会のため 26日(土)

於;東天閣(神戸本店)

2) BOXに多木化学株より(公財)多木文化振興会からのチラシ、吉田実盛会員より鶴林寺観月会のチラシ、ハイライト米山を入れさせていただいております。

3) 加古川平成 RC より9月7日(土)~8日(日)加古川楽市でのポリオ根絶キャンペーンのお礼状が届いております。募金の合計は78,025円となりました。RI2680 地区ガバナー事務所へ3クラブ連名にて送金させていただき、ガバナー事務所から RI財団へ送金される予定です。ありがとうございました。

- 4) わかば学園よりバザー物品提供のお願いがきております。10月末迄に持ってきて頂きますようお願い致します。
各テーブルにバザーについてのご案内とわかば学園50周年行事のご案内をおいております。回覧してご覧下さい。
- 5) (一財)兵庫県ボーイスカウト振興会より振興会維持費納入の御礼がきております。回覧します。
- 6) 次週9月24日(火)の例会はありません。例会取り止めとなっております。お間違いないようよろしくお願い致します。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 本日フォーラム担当の青少年奉仕委員会の皆様、ゲスト卓話を頂く小林稔夫様、よろしくお願い致します。
- 省 略 ☺ 本日フォーラム青少年奉仕委員長はじめメンバー皆様、ゲスト卓話小林稔夫様宜しくお願い致します。
- 省 略 ☺ 小林稔夫さんようこそいらっしゃいました。卓話楽しみです。
- 省 略 ☺ 前川容洋、真一郎会員、大変お世話になりました。
- 省 略 ☺ 吉田実盛会員、先日はお世話になりました。ありがとうございます。加古川市教育委員お疲れ様でした。
- 省 略 ☺ 小林稔夫様卓話楽しみです。よろしくお願い致します。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上7件 ¥16,000-
本年度累計¥541,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 77 名 出席 42 名 出席免除 18 名 欠席 17 名 71.18%
- ☆ 欠 席 者 省略

- ☆ 前 々 週 会員数 77 名 出席 56 名 出席免除 12 名 欠席 9 名 86.15%
- ☆ ゲ ス ト 第41回LYLAセミナー修了生 小林 稔夫さん
- ☆ メークアップ 加古川中央RC 9/12 正木、藤堂、吉田実、釜谷、大山

親睦活動委員会

- 例会場当番
- 10月1日(火) 平崎、船原
- 10月3日(木) 石川、五田



プログラム委員会

本日9月17日(火)	9月24日(火)	10月1日(火)	10月8日(火)
フォーラム ゲスト卓話 「絆」 第41回LYLAセミナー修了生 小林 稔夫さん 青少年奉仕委員会担当	例会取り止め [定款第8条 第1節(C)]	フォーラム ゲスト卓話 米山奨学生 張 主善さん 米山記念奨学会 委員会 担当	例会変更 3クラブ合同例会 3日(木)午後6時～ 於;加古川 プラザホテル2階

10月のおよろこび

◆ 誕生日祝 省略

◆ 結婚記念日祝

◆ 出席表彰

◆ 会社創立記念日

ナイジェリアでポリオ根絶に向けた画期的進展

8月21日、ナイジェリアでは野生型ポリオウイルスによる症例が最後に報告されてから3年が経過しました。これにより、来年には世界保健機関(WHO)アフリカ地域全土がポリオフリーとして宣言される可能性があります。

ナイジェリアでのこの画期的進展は、国内外からの資金、何千人もの保健従事者による尽力、北部での情勢不安によりこれまでワクチンを届けることができなかった地域での予防接種戦略も含め、各方面での努力が実を結んだ結果です。

ロータリーのインターナショナル・ポリオプラス委員長であるマイケル K. マクガバン氏は、次のように述べています。「ロータリー、世界ポリオ根絶推進活動のパートナー、ナイジェリア政府は、予防接種と疾病検知システムを強化してきました。ナイジェリアでこれまでワクチンを届けるのが困難だった地域で、より多くの子どもたちに予防接種ができるようになりました」

ナイジェリアのロータリー会員が重要な役割を果たしていると述べるマクガバン氏は、「ロータリアンはポリオ根絶への認識向上、政府へのアドボカシー、安全な水を危険な地域にもたらすといった補足的な基本的保健ニーズへの取り組みにも尽力した」と話します。

ナイジェリアは、アフリカ最後のポリオ常在国です。アフリカで野生型ポリオウイルスの根絶が認定されれば、WHOの6地域のうち5つにおいてポリオフリーが達成されることとなります。同じく野生型ポリオウイルス常在国であるアフガニスタンとパキスタンでは、ウイルスの伝搬が現在も阻止されていません。

ロータリーのナイジェリア全国ポリオプラス委員長であるツンジ・フンショ氏は、ナイジェリアでの達成を評価しつつも、ロータリー会員が祝賀するには時期尚早であると警鐘を鳴らしており、ナイジェリアですべての子どもに定期的な予防接種を実施することが引き続き課題であるとしています。

フンショ氏は次のように述べています。「ナイジェリアに野生型ポリオウイルスが再び持ち込まれないようにすることが、極めて重要です」

そのためには、ロータリーによる積極的なアドボカシー活動と予防接種キャンペーンへの認識向上を継続し、ロータリー会員が引き続き募金を行うことが必要であるとフンショ氏は話します。ロータリーはこれまで、ナイジェリアにおけるポリオ根絶活動に対し、2億6800万ドルを寄付しました。

「ポリオのない世界を夢見た最初の団体として、ロータリーはこの約束を守ることに献身しています」とマクガバン氏。「ナイジェリアでの進展はこの目標への大きな前進ですが、パキスタンとアフガニスタンでも同様の進展が見られるように、活動の勢いを保たなければなりません」

10月24日の**世界ポリオデー**にポリオ根絶活動への支援を募り、認識を高めましょう。ポリオのない世界の実現のため、皆さまからの**ご支援**をお願いいたします。



子どもへのポリオ予防接種を終え、家に印をつけるボランティア(ナイジェリア・マイドゥグリにて)